

# まほろば



2014.2  
第150号

## 幻想的・活動的・弘前的な冬=第38回弘前城雪燈籠まつり=

去る2月8日（土）から11日（火）の4日間、弘前公園を会場に「弘前城雪燈籠まつり」が開催されました。会期中は、冷え込みは厳しいものの、穏やかな天候で、絶好のまつり日となりました。

メイン会場四の丸に造られた今年の大雪像は、初めて題材に取り上げられた「旧第八師団長官舎」。この「旧第八師団長官舎」は、昨年春保存修理が完了し、現在弘前市役所敷地内にあります。1951年（大正6年）に、第八師団公舎として建てられ、その後、1951年（昭和26年）に市に払い下げられて、市長公舎として使われました。平成15年には国登録有形文化財に、平成20年度には弘前市から「趣のある建物」に指定されています。今年は、この大正時代のモダンな高級住宅といった趣の大雪像に、桜・ねぶた・こぎん刺し・津軽塗など弘前をイメージした映像を映し出すプロジェクションマッピングが登場。多くの見物客が詰めかけました。

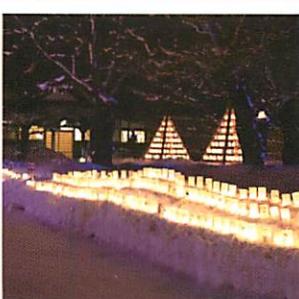
中でも、投影された映像でお菓子の家となった雪像のドアから、たか丸くんなどご当地のゆる

キャラが次々登場した場面では、「かわいい！」の声が多くあがり、映像に釘付けとなりました。

9日（日）は、市民1000人で「恋するフォーチュンクッキー弘前雪灯籠まつりバージョン」を踊ろうというイベントや、雪かきの速さと美しさを競う「津軽ひろさき雪かき検定」、更には花火打ち上げと盛りだくさんな1日でした。

寒さに負けず出掛けでみれば、一味違った素敵なお弘前の冬に出会えます。

地域医療連携係：工藤 真淑



## 第88回 市民講座

## 『産科婦人科受診のコツ』

小学校5年生の時、女子だけが理科室に集められ「月経とは」という教育フィルムを見せられた記憶があります。月経が始まる際には、準備・学習の時間があり、周囲には母親・姉・養護教諭の先生など「先輩」がいます。長じて、月経が終わる頃はどうでしょう。漠然と「いつかは終わる」といった認識ではないでしょうか。

月経のことを始め、女性が「自分の体の一生をかけての変化」について学ぶ機会があれば、もっと上手に産科婦人科を受診いただけるのになあと

日常診療で感じていました。そこへ、市民講座のお話をいただきましたので、「オトナのための保健の授業」といった内容でお話しさせていただきました。

ただ、市民講座ということで、わかりやすくを心掛けました結果、聞きに来てくださった皆さんには物足りない内容だったかも…と反省しています。次の機会（？）にはバージョンアップさせたいと思います。

産婦人科医師：丹藤 伴江

### 第88回 国立弘前病院市民講座

#### 産科婦人科受診のコツ

弘前病院 産婦人科医師  
丹藤 伴江

日時：平成26年1月29日(水)17:40～18:40  
場所：弘前病院地域医療研修センター  
どなたも自由にご参加ください



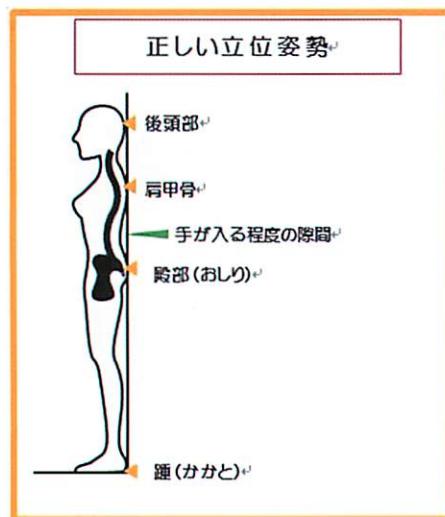
弘前病院教育管理委員会



## 正しい立位姿勢とは？

幅広い年齢層で身体の悩みとして腰痛をよく聞きます。腰痛には何かの動作がきっかけとなる急性腰痛と、長く続く慢性腰痛があります。慢性腰痛の原因は、腰椎の変性、運動不足、不良姿勢、作業環境、様々挙げられます。今回は中でも姿勢について注目してみようと思います。脊柱（背骨）は通常、横から見ると緩やかなS字状になっています。不良姿勢をとることでS字が崩れてしまうと筋肉のバランスも崩れてしまい、脊柱起立筋（背筋）に大きな負荷がかかるため、腰痛を引き

起こしかねません。では、自分の姿勢を確認してみましょう。



壁に踵、おしり、肩甲骨、頭の後ろをつけて立ちます。腰の後方に手が入る程度の隙間があるのが正しい姿勢の目安です。隙間に余裕のある方は腰が反りすぎている、また隙間がない場合は猫背になっています。普段から良い姿勢を心がけることで腰痛の予防にもつながります。一度自分の姿勢を確かめてみてはいかがでしょうか。

理学療法士：渡辺 早貴

# 院内保育園へ手洗い講習に行ってきました

1月24日に感染対策チームの3名で、院内保育園へ手洗い講習に行ってきました。ちょうどノロウィルスによる集団感染の報道が連日されている時期もあり、「手をちゃんと洗わなければお腹が痛くなるんだよ～」と、手洗いの重要性について拙い寸劇を交えてお話をしました。そして、「みんなもちゃんと手洗いが出来るかな？」ということで、蛍光塗料を使って手洗いチェックを行いました。4～5歳児は一人でちゃんと手洗いが出来

ていましたし、2～3歳児では、保育士さんと一緒に手洗いをしたことで、正しい手洗いが出来ていました。正しい手洗いが習慣化され、ノロウィルスやインフルエンザをはじめとした感染症の予防につながっていくことを期待します。

また、講習会は終始賑やかに行われ、私たちもとても楽しかったです。最後に「来年もまたお願いします」と言って頂き、今から次の企画を考えながら楽しみにしているところです。

感染対策チーム（ICN）：大谷 直美



## 「風の子保育園 豆まき」

2月3日、節分の日。日本の伝統行事の一つでもある「節分の由来」について、紙芝居や話を聞き、元気に「鬼は外！福は内！」と豆をまき、保育園中の病気や災難を追い払いました。

今年は岩木山から怖い赤鬼が入ってこないようにな、子ども達の願いをこめて、鬼の嫌いな柊のぎざぎざの葉に、いわしを刺した鬼除けを玄関の戸口に飾りました。そして、みんなが笑顔でいらっしゃるよう青、赤のかわいい鬼を段ボールで作っておきました。

心の中の泣き虫鬼、いじわる鬼、うそつき鬼、やだやだ鬼…など、今年はどんな鬼を退治しようと、思案中の保育士。子ども達もお面作りに熱がはいり、どれも力作ばかり。チラシを丸めて豆まきボールを作つて豆まき準備万端です。

「今日は雪が降つて寒い日だね。山にいる鬼がかわいそうだね。」と話しながら、歌・ゲーム・ダンスをして楽しんでいると、戸の隙間から「悪い子はいねえが！」と赤鬼が顔を出したので、子ども達はびっくりして泣いて逃げ回りました。年長組のお兄さん、お姉さんは「鬼は外！」【おりこうにします】と、豆ボールを投げ鬼退治。鬼は「来年もまた来るから」と言い残し、山に帰つて

いきました…ので、きっと来年も来ますね。

大好きな給食は、恵方巻きです。今年の恵方「東北東」を向いて、願い事を思い浮かべながらおしゃべりせずに食べると、願い事が叶うと言われておりますが、一人で作る手巻き寿司が楽しくて、おしゃべり全開で大きい口を開けて喜んで食べていました。

今年も風の子保育園の子ども達の優しい心、強い心、頑張ろうとする心、みんな仲良しになろうとする心が育ちますように。

そして、笑顔で元気で過ごせますようにと、願いをこめて過ごした節分でした。

風の子保育園 園長：諏訪 栄子



## 医療安全研修を終えて

### 「医療事故に関する民事・刑事・行政上の責任」



1月29日から3日間、医療安全研修の一環として「医療事故に関する民事・刑事・行政上の責任」とのテーマで、大間企画

課長と分担してお話をさせて頂きました。

医療事故は医療の全課程において発生する全ての人身事故であり、医療過誤は医療従事者が医療の遂行において医療的準則に違反して患者さんに被害を発生させた行為と定義されていますが、当院においても針先事故などの医療事故と医療過誤に当たる案件が最近増加している状況です。

特に医療過誤の交渉に関して問われるのが、患者さんへの十分な説明と同意（インフォーム

ドコンセント）、カルテや看護記録等への記載であり、記載がない場合は交渉が非常に不利に働くこととなります。大きなクレームに発展しないためにも、日頃から患者さんへの接遇と好ましい人間関係（コミュニケーション）の構築にご協力をお願いいたします。

事務部長：三浦 宏之



## 感染対策研修会

### 『SSI サーベイランスについて』



1月29日から31日にかけて3日間、「SSI サーベイランスについて」というテーマで感染対策研修会が開催されました。SSI とは手術部位感染のことで、これまで整形外科の一部の術式のみでしたが、2月より、整形外科、産婦人科、外科と対象をひろげてSSI サーベイランスを行うことになりました。

サーベイランスの目的は、感染症の発生状況を知り、現在の感染対策を改善していくことです。ふだんから、何となくこの術式は創感染が多いなど感じている方もいるとは思いますが、サーベイランスを行うことで、具体的な数字としてその割合が算出されます。さらに、全国のほかの施設と比べることで、当院が特に感染が多いのか、その術式がもともと高い感染率なの

かということがわかります。そして、それに応じた対策をたてて、対策前後で比較することで、その対策が有効だったかどうかもわかります。4月の診療報酬の改定では、サーベイランスへの参加も反映されるようです。

手術に際し、さらに業務が追加となり大変だと思いますが、医療の質を反映する指標としても最近重要視されてきており、よろしくご協力をお願いいたします。

外科医師：櫻庭 弘康



## シリーズ BFH ③



### 「赤ちゃんにやさしい病院・BFH(Baby friendly hospital)とは?その3」

時代は変わっても子育ての基本は変わりません。人間の成長・発達のスタートは基本的信頼感の獲得です。生れてから1年間は母親との信頼関係がすべての愛の出発点です。母親は周囲の支援を得ることで、子どもの気持ちを尊重し、子どもに安心感と信頼感を与えることができます。子どもの健全な心と身体は、愛情をこめて、手をかけて育ちます。人を思いやる心、やさしい心は、まず自分が愛され、やさしくされた経験がなければ育ちません。

赤ちゃんの心について、お母さんはおっぱいを飲ませる度に赤ちゃんを胸に抱きます。胸に抱かれ、お母さんの温かい優しい声を聞き、大好きな匂いをかぎ、おっぱいを飲ませてくれるお母さんの存在を感じ取っていきます。「お母さんっていいな～」。この何回も繰り返される抱っこ授乳から赤ちゃんはお母さんとの信頼関係を作っています。おっぱいは赤ちゃんにとって心の栄養になります。

抱き癖について困る赤ちゃんより抱き足らない赤ちゃんが多いと言われています。抱き足らない赤ちゃんの情緒的な問題として①泣かない②笑わない③視線が合わない。発達の遅れとして①首がすわらない②お座りができない③寝ぐせで頭がいびつ④背中も扁平だそうです。



第二次世界大戦後、欧米流の育児が日本に入ってきた1つとして“抱き癖”という言葉ができました。独立心を養うために極力1人にするということから、抱っこをしない育児法ができました。しかし、自立した人間になるためには赤ちゃん時代に十分手をかけることが大切だと分かってきました。小さい時にお母さんにたっぷりと抱っこされ十分に甘えて育った赤ちゃんほど、自立心が強くなるのです。生きていくのに甘えが大切です。授乳期の大切な育児の3原則として①しっかり抱いて②語りかけて③おっぱいを飲ませる。赤ちゃんの微笑みがありまた、語りかける・という素晴らしい営みが生まれるのであります。

母子医療センター助産師：三浦 初枝



# 外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表 (2014年2月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		中川英之 下山亜矢子	山本勝丸 下山亜矢子	中川英之 下山亜矢子	山本勝丸 下山亜矢子	中川英之 下山亜矢子
消化器・ 血液内科		間山恒 高杉かおり 佐藤年信 石黒陽	— 五十嵐崇徳 高杉かおり 石黒陽	五十嵐崇徳 高杉かおり (隔週交代) —	間山恒 高杉かおり/五十嵐崇徳 佐藤年信 石黒陽	間山恒 五十嵐崇徳 佐藤年信 石黒陽
小児科		杉本和彦 三上珠希 千葉奈歩	佐藤工 千葉奈歩 久保かほり	杉本和彦 三上珠希 久保かほり	佐藤工 千葉奈歩 久保かほり	杉本和彦 久保かほり 千葉奈歩
外科		田澤俊幸	三上勝也	田澤俊幸	神寛之	三上勝也
乳腺外来		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	櫻庭弘康	小田桐弘毅
整形外科	午前	柿崎寛 黒瀬理恵 神裕道	柿崎寛 黒瀬理恵 飯尾浩平	秋元博之 黒瀬理恵 神裕道	秋元博之 大石和生 —	柿崎寛 秋元博之 神裕道
脳神経外科	午後	—	—	—	—	柿崎寛
皮膚科	午前	熊野高行 佐藤正憲	佐藤正憲 熊野高行	佐藤正憲 熊野高行	熊野高行 佐藤正憲	熊野高行 佐藤正憲
泌尿器科	午後	●予約 検査	●手術/検査	●予約 手術	●手術/検査 検査	●予約 手術
産婦人科		木村秀崇 木村恵理子	尾崎浩士 丹藤伴江	丹藤伴江 木村秀崇	●妊婦健診 (一般外来休診)	尾崎浩士 大石舞香
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		黒田令子	黒田令子	●手術 (一般外来休診)	黒田令子	黒田令子
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	—	—	川口英夫 (午後)	—	川口英夫 (午後)
女性専用外来		杉本菜穂子(※予約制/第1・第3火曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		—	—	—	今充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

## 今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

泣きやむ子 魔法のような 母乳かな

(アンパンチ)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

### 患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

### お知らせ

#### 編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital  
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 柿崎 寛

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>